

福島放技ニュース

変化と同化

片倉俊彦

私の故郷に愛宕山という山がある。20年前、山頂からの風景は古い町の緑と新しい町の白が鮮やかなコントラストでドーナツのように見えた。このときの変わりつつある町並みの印象は強烈で、緑の少ない新しさを憂いた。20年ぶりにこの故郷の町を見下ろす山に登った。そこにはドーナツは無く、新しかった外輪と同じ色の町並みが広がっていた。確かに、雪深い地域で複数の車を有し消雪設備付きのコンクリートを敷設すれば垣根や庭木も肩身の狭い思いであることは容易に想像できる。部外者の身勝手な論理とは全く関係なく見事に同化している町並みを見ると、多様な論理と同時に一定の論理での収束があることを思い知らされる。

眼を転じて我が放射線技師会はどうであろうか

昨年来の海賊版騒動は技師会の謝罪で一件落着かと思われたが、謝罪文と一緒に掲載された弁解の文書は相手に強い衝撃を与え、名誉毀損で訴えられる結果となった。多様な論理の存在を知り、自身の立場を理解するために是非とも医療科学社のHPを見ていただきたい。「3万人の代表者たるもの無益な争いで無駄な金を使うな」と思う。

さて、本県においてもようやくアドバンス講習を開催することとなった。この出遅れは全て私の責任であるが私なりの論理がある。その一つは、個人が費やす金と暇に見合う効果が返らないと思われることであったが、医療従事者として必要な知識修得に見合う程度の負担での講習が可能になった。更にやっかいな問題はこの技師格がないと自分のやりたい他の知識を学ぶチャンスを与えないという事実である。この問題は納得できないところであり、技師格と技能認定は全く別なものと考えるべきである。この私の論理はあくまでも一つの方向である。多くの会員が多方向の論理を租借し、多くの会員が収束できる論理で現在の大きな変化を穏やかに同化していきたいものである。その第一歩は多くの情報を基に多方向の考え方を知るという作業である。しかしながら、技師会の動きのあまりにも大きなうねりに時として自分の居場所が分からなくなることがある。このようなときは、腰を下ろして目を閉じ己を磨く修行は如何だろうか。技術者たるもの己の技術の向上という論理は唯一無比の王道である。耳を澄まして風を聞き、前方の闇を見透かして、休まず王道を進みたい。このたびの講習会がその一助になれば望外の喜びである。

平成十七年度学術大会のプログラム決まる

開催期日：平成17年11月13日（日）

会 場：県立医科大学講堂

【プログラム】

- I. CT（10:10～11:05）
座長：高野 基信（県立医大附属病院）
- 16列マルチスライスCTの下肢静脈瘤術前検査としての有用性—患者負担軽減のために—
竹田綜合病院 ○井上基規他
 - CT画像データの臨床現場への活用
田村市立都路診療所 ○菅野修一他
 - CT画像における画像フィルターの検討
県立医大附属病院 ○遠藤有香他
 - 胸部CT肺がん検診用撮影条件の検討
福島県保健衛生協会 ○渡辺晃成他
- II. マンモ・CR（11:05～12:00）
座長：柳田 幸恵（寿泉堂綜合病院）
- 平成16年度会津若松市乳がん検診結果報告～第1報～竹田綜合病院 □佐々木綾乃他
 - 平成16年度会津若松市乳がん検診結果報告～第2報～竹田綜合病院 □鴻巣さゆり他
 - 当協会における乳がん検診実施状況
福島県保健衛生協会 ○茂木 俊一他
 - Kodak Directview CR850・950システムにおける物理特性評価
福島労災病院 ○佐々木亮浩他
- ランチョンセミナー12:30～13:30）
司会：鈴木 憲二（県立医大附属病院）
臨床医学概論「脳腫瘍を中心に」
講師：井戸 靖司（木沢記念病院）
臨床医学概論「胸部疾患について」
講師：藤野 俊明（JA中濃病院）
- III. 一般撮影・他（13:30～14:15）
座長：福田 和也（公立岩瀬病院）
- 胸部、腹部ポータブル撮影時の散乱線の状況
太田綜合病院附属太田西ノ内病院放射線部
○笹川克博
 - 逆ステンバース(Arcelin法)撮影用補助具の試作 第□報—使用経験及び再現性について—
(財)星綜合病院 □渡部 剛史他
 - 逆ステンバース法(Arcelin法)撮影用補助具の試作 第II報(被曝線量及び画質評価) 星綜合病院 ○続橋順市他
 - 胃集検における高齢者の現状と問題点
福島県保健衛生協会 ○有松忍他
目黒清 遠藤林太郎 水越仁志 村岡英夫

- IV. RI・PET・治療（14:15～14:50）
座長：小島 正徳（総合南東北病院）
13. 福島県心筋Phantom 2nd Study報告
福島核医学技術検討会 ○続橋順市
 14. PET-CT装置 CTによる吸収補正がもたらすPET画像への影響
総合南東北病院 ○齋藤二央他
 15. 当院における補償フィルタ方式IMRTの検討
太田西ノ内病院 ○庭山洋他
- V. MRI・他（14:50～15:40）
座長：池田 孝男（竹田綜合病院）
16. FUS（集束超音波治療）装置の使用経験
会津中央病院 ○工藤靖之
 17. PACE法の有用性
会津中央病院 ○高橋香保里
 18. 3TMRIにおける前交通動脈(A-com)描出の検討
総合南東北病院 ○赤石澤孝他

ADセミナー講習会がスタート

本県としては初のADセミナー講習会が開催される事となった、受講者延べ合計人数が141名に達し予想より多くの会員の参加をえて次の日程でスタートする。

なお今まで県主催の講習会では、受付などのお世話係を福島医大の方々に頼ってきましたが、今回は各地区の生涯学習委員会を中心に持ち回りで担当する事になりました、ご協力宜しくお願いします。

- 「医療安全学」 119名
日程；平成17年10月16日、10月23日
会場；福島県立医科大学
第2臨床講義室、光が丘会館大会議室
- 「医療学」 116名
日程；平成17年12月11日、12月18日
会場；福島県立医科大学 第2臨床講義室
- 「看護学」 120名
日程；平成18年1月8日、9日
会場；福島県立医科大学 光が丘大会議室
- 「救急医療学」
来年度早い時期に開催の予定。（堀江）

訃報

9月22日 本会名誉会員である会津支部の
渋川 弘 様 が永眠されました（享年86歳）
謹んでお悔やみ申し上げます。

支部だより

《県南支部》

高橋勝郎氏瑞宝単光章受章祝賀会開催される

平成17年春の叙勲において、元福島県放射線技師会副会長の高橋勝郎氏が、瑞宝単光章を受章され、その祝賀会が平成17年9月4日（日）郡山市にある郡山ビューホテルにて福島県放射線技師会主催で開催されました。片倉会長、齋藤、鈴木両副会長をはじめとする放射線技師会会員、中央医療技術専門学校同窓会会長、寿泉堂総合病院の職員の方々等、高橋氏に縁の深い関係者が多数出席され盛大な祝賀会となりました。まず吉田県南支部長による発起人挨拶により式が始まり、伊藤事務局長による業績の紹介、片倉会長による祝辞があり、その功績が賞賛されました。祝宴は非常にアットホームで、これも高橋氏の御人徳によるものと感心いたしました。最後に高橋氏のご健康と益々のご活躍を祈念し、齋藤副会長による格式高い万歳三唱にて閉会となりました。



《県北支部》

平成17年9月17日（土）福島県「緊急被ばく医療基礎講座Ⅱ」（ホールボディカウンタース）が（財）原子力安全研究協会・核燃料サイクル開発機構により、福島県立医大病院で開催されました。県北支部より4名の会

員が参加して、実習を含めた講習を行いました。講習会では、ホールボディカウンタによる基本動作の確認や校正、体内残留量及び被ばく線量評価などについて学びました。参加者からは「今回の講習で通常業務ではほとんど取扱う機会のないホールボディカウンターや、その他の測定器の構造や使用方法を学ぶことができ、実際に緊急被ばく事故が発生した場合に少しでも迅速かつ適正に対応できると思う。」との感想も聞かれました。（池田）



《会津支部》

9月25日（日）、第21回会津若松市健康まつりが開催されました。毎年この時期に開催されており、支部事業として協賛しました。

今年の健康まつりでは「健康はあなたが生むものをつくるもの」をスローガンに、各種団体が多種多様な発表・展示をしており、その中で会津支部では「検診に貢献する画像診断」をテーマとして、MRI・CT・マンモグラフィ・胃X線撮影・胸部X線撮影・骨密度検査など、各検査についての説明パネルの展示や、臨床症例の写真などを展示しました。当コーナーを訪れた方は、日頃あまり目にする事の少ない臨床画像などに、興味津々といった様子で、熱心に展示物を見ていたようです。

また、検診を受けたことがある方からは、各検査に関する疑問、放射線医療に関する専門的な質問などが投げかけられて、さながらインフォームドコンセントのトレーニングの場と化して、説明に悪戦苦闘した会員も見受けられました。また、今回まつりに参加して見て、一般の方の検診に対する強い関心をうかがい知る事ができ、日常業務における検診業務の重要性を痛感させられた一日でした。（森谷）

《浜通り支部》

浜通り支部夏季研修会開催される

平成17年8月27日、浜通り支部夏季学術研修会が磐城共立病院第一会議室で開催された。支部長挨拶の後、下記のような内容で講演、質疑が行われ

た。

『造影剤における同意書と問診表について』
第一製薬 成谷光蔵 様
『断層撮影装置の現状』
雲雀ヶ丘病院 堀江常満 様
『トモシンセシス』
島津製作所 塩見剛 様

造影剤に関して、問診表は大部分の施設で実施されているが、同意書は逆にほとんど行われていないのが実情である、リスクマネジメントの観点からも今後の課題となろう。

従来型の断層撮影装置が姿を消しつつある現在、それに変わる新しい動きとして FPD を使い、1 回の断層走査により X 線照射角度を変化させながら撮影することによって、特定の裁断面を再構成により得られる方法が紹介された。DR 装置に後付も可能との事で、デジタル X 線 TV 装置の新しい利用法であるが、CT の MPR との画質の比較やコストパフォーマンスの検討は今後の課題であり、施設や症例によっては、効果的と思われる。

残暑の厳しい中、新体制での初の研修会であったが、34 名の会員が参加し、活発な意見の交換で盛り上がりを見せた。(八巻)



病院協会浜通り地区野球大会開催される

平成 16 年 9 月 19 日 (月) 浜通り恒例の第 38 回福島県病院協会浜通り地区野球大会が開催されました。毎年、多数の浜通り地区放射線技師も参加する楽しい技師会を想わせる大会です。天候にも恵まれ平球場・中央台北中学校グラウンド・いわき明星大学グラウンドでの熱戦が繰り広げられました。今年は双葉病院・松村総合病院・常磐病院・双葉厚生病院・公立相馬病院・原町市立病院・福島労災病院・かしま病院・呉羽総合病院の 9 病院が参加しました。緊迫する熱戦の中、福島労災病院が連続優勝、双葉厚生病院が準優勝という結果になりました。技師会のメンバー多数が集う恒例の大会でもあり楽しく秋の 1 日を過ごしました。浜通り一番の大病院である共立病院の参加がなかったことがさびしく感じられました。

(大森)

ADセミナー受講者の方へ

以下に該当する会員はセミナーの受講免除対象者となります。

◎全免除対象者：大学、短大において「医療安全学」等の科目 1 単位を習得した者

(科目等履修生としての単位修得も含む)

受講と単位認定試験が免除されます。

◎一部免除対象者と講義名：確認できる書類等を講習会時に持参のこと。

① 放射線機器管理士

『電離放射線施設での安全性』『非電離放射線施設での安全性』

② 放射線管理士もしくは生涯学習セミナー『医療被ばく線量の測定』『放射線安全管理』等の修了者

『医療被ばくガイドラインの意義』『被ばく線量測定』『最適化の具体的取り組み』

③ 生涯学習セミナー『リスクマネジメント』もしくは企業等における 9 時間以上の該当セミナー修了者

※ 受講免除の方でも生涯学習カウントが必要な方は受講されることをお勧めします。

※ 受講免除の申請は各自で行ってください。

中央医療技術専門学校同窓会 県支部総会のお知らせ

日時：平成 17 年 11 月 12 日 (土) 午後 3 時 (学術大会の前日)

場所：飯坂温泉 「ホテルあづま荘」

会費：¥ 14,000 円 (宿泊者) ※各種該当者は割引有り

出席申込み：事務局担当 (吉田) まで連絡下さい。詳細を返送します。

電話 0248-24-3666 (FAX/留守録)

電子メール アドレス

romankan@amber.plala.or.jp

申込み〆切：10 月 12 日まで

編集後記

○今秋からいよいよ福島県もアドバンスセミナーが始まります。日放技内を技師の格付け賛否両論飛びかう中で、誰のための何のためのセミナーなのかを考えながら受講したいものです。明日の放射線技師の社会的地位向上のためにも。(大森)